

令和7年度

京都府食育推進行動計画

実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまる

令和7年度

京都府

1 第4次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況

項目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる府民の割合	目標	—	72%	74%	76%	78%	80%
		達成状況	69.1%	65.7%	53.1%	59.6%	56.4%	59.2%
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 心身の健康増進には、栄養バランスに配慮した食事を習慣的に摂取することが大切で日本型食生活にも繋がります。								
<調査方法> 農政課「食育・食生活にかかるアンケート調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録) (きょうと食育強化月間の啓発) (動画を活用した子育て世代向け食育啓発) (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発) (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発) (食育事例集の作成、啓発) (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発) ・きょうと食いく先生等派遣事業 ・大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催 								
<達成又は未達成の要因とその分析> 令和7年度と同調査において、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を食べる回数を増やすために必要なことについて、「手間がかからないこと」、「食費に余裕があること」、「時間があること」の順にあげた者の割合が多く、これまでの調査でも同様の結果である。栄養バランスのとれた食事をとるためには、手間や時間、費用の面でハードルがあることが示唆される。 一方、国の食育に関する意識調査(令和8年3月公表)において、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日あるかという問に対して、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は36.1%であり、京都府は全国と比較して高い傾向にあり、国の目標値(令和7年度：50%以上)を上回っている。								

項目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
2	朝食を毎日食べる府内小学生の割合 (6年生)	目標	—	87%	89%	91%	93%	95%
		達成状況	85.3%	84.3%	83.1%	82.5%	83.3%	83.2%
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合 (3年生)	目標	—	82%	84%	86%	88%	90%
		達成状況	79.7%	80.0%	77.6%	76.2%	78.1%	77.8%
<担当課> 教育庁保健体育課、社会教育課、学校教育課								
<目標設定の考え方> 朝食は、基本的な生活習慣を身につける観点から非常に重要であり、とりわけ、子どもの朝食摂取に向けて、家庭や学校等関係者が連携し取組を推進します。								
<調査方法> 文部科学省「全国学力・学習調査」								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府食育推進連絡協議会による取組 ・京都府食育推進交流会による取組 ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰への推薦及び広報活動(偶数年度実施) ・農政課実施の食のみらい宣言への参加を促す。 								
<達成又は未達成の要因とその分析> 目標値未達成の要因として、家庭の生活環境や生活リズムの多様化など、学校のみでは対応が困難な要素が影響していると考えられる。特に、高学年になるにつれて就寝時刻が遅くなる傾向があり、起床後に朝食を十分に摂取する時間がない、また食欲がわからない等の児童生徒が一定数存在している。さらに、各校において朝食の重要性についての周知は行っているものの、家庭における具体的な行動変容につながる継続的な取組が十分に定着していないことも目標未達成の一因と考えられる。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
3	きょうと食いく先生の授業数	目標	—	425授業 /年	457授業 /年	490授業 /年	522授業 /年	554授業 /年
		達成状況	373授業 /年	216授業 /年	429授業 /年	579授業 /年	580授業 /年	596授業 /年
<p><担当課> 農林水産部農政課</p>								
<p><目標設定の考え方> 食の専門家である「きょうと食いく先生」が持つ知識や経験で、学校等での食育活動を支援します。</p>								
<p><調査方法> 農政課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食いく先生等派遣事業 ・京都府食育推進交流会 ・きょうと食いく先生養成講座 </p>								
<p><達成又は未達成の要因とその分析> 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2・3年度は授業数が減少したが、オンライン授業の導入や新規団体からの申込みにより、令和4年度に回復し、令和5年度以降は目標を大きく上回る授業数を継続している。 また、食いく先生の紹介動画や事例集の作成、養成講座や交流会の開催等により周知・啓発を進めた結果、「きょうと食いく先生」の認知度向上と活動機会の拡大につながった。 </p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
4	学校給食における地場産物を使用する割合 (金額ベース)	目標	—	22%	24%	26%	28%	30%
		達成状況	20.6%	17.7%	18.6%	21.5%	17.4%	22.2%
<p><担当課> 教育庁保健体育課</p>								
<p><目標設定の考え方> 学校給食に地場産物（京都府産の食材）を活用することで、地域の自然や食文化等の理解を深め、感謝の心を育むなどの取組を推進します。</p>								
<p><調査方法> 文部科学省「学校給食における地場産物・国産食材の使用状況調査」</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・市町（組合）教育委員会と農林水産部局が連携し、学校給食への地場産物活用が促進するよう促す。 ・京都府学校給食会へ地場産物使用状況等の情報提供を行い、府内産食材の取扱い促進について依頼する。 </p>								
<p><達成又は未達成の要因とその分析> 要因として、地場産物は季節や天候による収量変動や価格の不安定さ等の影響を受けやすく、計画的な調達が難しいことが挙げられる。また、地域によって生産品目や供給体制に差があることから、献立への活用状況にばらつきが生じている。さらに、規格や納品量、下処理に係る調理場の体制等の制約により、献立への安定的な活用が進みにくい状況も見受けられる。加えて、年間献立計画と地場産物の出荷時期との調整が十分でない場合等についても、目標達成を妨げる要因となり得ると考えらえる。 </p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
5	食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	目標	—	70%	77%	85%	92%	100%
		達成状況	68.0%	65.4%	73.1%	76.9%	80.8%	92.3%
<p><担当課> 農林水産部農政課</p>								
<p><目標設定の考え方> 市町村食育推進計画の作成を通じて、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。</p>								
<p><調査方法> 農林水産省「食育推進計画等に関する調査」</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援 								
<p><達成又は未達成の要因とその分析> 市町村からの問い合わせや依頼を受け、個別に策定支援を実施した。与謝野町食育推進計画策定に係るオンラインミーティングへの参画など、市町村からの依頼や問合せには、随時受け付け、個別に策定支援を実施した。</p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
6	きょうと健康おもてなし食の健康づくり 応援店数	目標	—	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗	800店舗
		達成状況	788店舗	796店舗	804店舗	811店舗	808店舗	823店舗
<p><担当課> 健康福祉部健康対策課</p>								
<p><目標設定の考え方> エネルギーやアレルギー表示、野菜や塩分に配慮した食事を提供する「食の健康づくり応援店」を通して、府民の健康的で安全な食環境整備を推進します。</p>								
<p><調査方法> 健康対策課調べ</p>								
<p><目標達成に向けた主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店事業 ・地域の食に関連する情報を収集し、対象店舗を開拓。 ・会議等における応援店PRのチラシの配布。 								
<p><達成又は未達成の要因とその分析> 京都市と連携し団体を通じた事業の周知や「食の健康づくり応援店ガイドブック（乙訓・山城北・山城南エリア）」の作成・周知等、関係者と連携した取組を行った。</p>								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
7	京の食文化の語り部のオンライン講座 受講者数	目標	—	100人 /年	150人 /年	200人 /年	250人 /年	300人 /年
		達成状況	0人 /年	81人 /年	326人 /年	401人 /年	309人 /年	277人 /年
<担当課> 農林水産部流通・ブランド戦略課								
<目標設定の考え方> 府内の農林水産物や食文化に造詣の深い京の食文化の語り部の普及活動を通じて、府内農林水産物の魅力発信や食育活動の活性化を推進します。								
<調査方法> 流通・ブランド戦略課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> 京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにした講演会の開催 YouTubeの京の食文化ミュージアム・あじわい館チャンネルを活用した動画の公開 								
<達成又は未達成の要因とその分析> 講演会については、広報を積極的に行い、ほぼ満席（予約満席、2名当日キャンセル）を達成した。YouTubeでのオンライン講座の参加者数が目標を下回った要因としては、あじわい館の事業を来館型（リアル）とオンライン型の双方で展開する中で、特に来館型講演会の充実に注力したことが挙げられる。一方で、来館型講演会においては参加型プログラムが高い評価を得ており、参加者の満足度向上および学習効果の面で成果が見られた。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
8	和食文化人材の育成人数 (京都府立大学農学食科学部和食文化科学科及び文学部和食文化学科在籍者数)	目標	—	90人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年	120人 /年
		達成状況	36人 /年	102人 /年	135人 /年	134人 /年	135人 /年	139人 /年
<担当課> 総合政策環境部大学政策課								
<目標設定の考え方> 食文化に関わる（担う・支える・楽しむ）人を増やし、その裾野を広げる取組を推進します。								
<調査方法> 大学政策課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> 和食文化人材の育成 								
<達成又は未達成の要因とその分析> 和食のユネスコ無形文化遺産登録以降、食文化や健康と結びついた食育への関心が高まっており、こうした社会的背景が和食文化を専門的に学ぶ学生の増加につながった。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
9	ICTを活用した情報発信数	目標	—	60回 /年	120回 /年	180回 /年	240回 /年	300回 /年
		達成状況	30回 /年	372回 /年	402回 /年	319回 /年	335回 /年	384回 /年
<担当課> 部局共通								
<目標設定の考え方> 新しい生活様式・新たな日常への対応として、オンラインでの情報発信等、ICTを活用した効果的な取組を推進します。								
<調査方法> 担当課集計								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組【農林水産部農政課】 （動画を活用した子育て世代向け食育啓発） （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発） ・京都府食の府民大学の講義の充実【農林水産部農政課】 ・京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信【農林水産部農政課】 ・cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信【農林水産部流通・ブランド戦略課】 ・京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発【農林水産部畜産課】 								
<達成又は未達成の要因とその分析> 関係課によるSNS発信を継続するとともに、食の安全・食育に関する関係課の情報や食に関するイベントの周知、さらに関係課SNSの配信内容の共有を積極的に行い、情報発信の幅を拡大した結果、目標を上回る達成となった。								

項 目		年度	策定時 (R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
10	ICTを活用して食育宣言を行う府民の数	目標（累計）	—	500人	1,500人	3,500人	6,500人	10,000人
		達成状況	0人	2,147人	5,216人	8,795人	12,980人	18,439人
<担当課> 農林水産部農政課								
<目標設定の考え方> 健全な食生活の実践に向けて、具体的な取組目標や取組結果等を宣言するもの。従来の紙媒体等による募集方法からSNS等を効果的に活用する方法に替えることで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促します。								
<調査方法> 農政課調べ								
<目標達成に向けた主な施策> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうと食育ネットワーク連携による取組 （ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発） 								
<達成又は未達成の要因とその分析> 農林水産フェスティバルや管内ロビーでの普及啓発を通じ、多くの来場者に食育宣言をしていただくことができた。また、InstagramなどのICTを活用し、募集開始の周知や広報を継続したことで、府民の関心と参加意欲を引き出すことができた。これらの対面とオンライン双方の取組が相乗的に働き、目標を上回る宣言数を達成できた。								

2 取組一覧（令和7年度）

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					推進計画における 目標との対応
				多様な主体			効果的な推進		
				家庭	学校等	地域	食育の関心	新たな日常	
農林水産部									
農政課									
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録)	10	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうと食育強化月間の啓発)	10	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発)	11	A	○			○	○	1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発)	12	A	○	○	○	○	○	10
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発)	13	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (食育事例集の作成、啓発)	13	A	○		○			1
	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発)	14	A	○		○			1
	きょうと食いく先生等派遣事業 (派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催)	14	A			○	○		3
	子ども用調理器具貸出事業の実施	15	B		○				
	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援	15	B			○			5
	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサ ポーターの養成、食育体験講座の開催	15	A			○	○	○	1
	京都府食の府民大学の講義の充実	16	A	○	○	○	○	○	9
	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信	16	A	○	○	○	○	○	9
農村振興課									
	子どもを対象とした農業体験の開催	16	A			○			
	高校生・大学生による農業関連実践活動	17	B		○				
経営支援・担い手育成課									
	農業体験活動等の推進	17	B				○		
流通・ブランド戦略課									
	京の食文化の語り部による講演会の開催	18	A				○		7
	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信	18	A	○			○		9
	「旬の京野菜提供店」の認定	18	A				○		
	京都府農林水産フェスティバルの開催	19	A				○		
農産課									
	農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動を通じた食育活動	19	A				○		
	茶育の推進	19	A		○		○		

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					推進計画における 目標との対応
				多様な主体			効果的な推進		
				家庭	学校等	地域	食育の関心	新たな日常	
畜産課									
	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発	20	B				○	○	9
水産課									
	水産教室の開催	20	A		○		○		
	都市漁村交流の促進	20	A			○	○		
総合政策環境部									
大学政策課									
	和食文化人材の育成	21	A				○		8
循環型社会推進課									
	食品ロス削減のための啓発事業の実施	21	A				○		
丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）									
	おくどさん体験及び夕食づくり	21	B	○	○	○	○		
	石窯パン・ピザ作り	22	B		○	○	○		
	アースデイ丹後	22	A	○		○	○		
文化生活部									
文教課									
	私立幼稚園・学校等への食育推進事業	22	A		○				
健康福祉部									
こども・子育て総合支援室									
	食育に関する事業案内等の周知	22	A		○				
家庭・青少年支援課									
	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進	23	A			○			
高齢者支援課									
	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成	23	A	○		○			1
健康対策課									
	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の取組	23	A			○			6
乙訓地域									
乙訓保健所									
	家庭における食育推進をねらいとした啓発	24	A	○			○		
山城地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	山城マルシェの開催	24	A			○	○		
	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	24	A			○		○	
	やましろ産食材を使ったメニュー開発と情報発信	25	A			○	○	○	

担当 または 窓口	取組事項名	ページ	評価 (※)	推進計画における施策との対応					目標との 対応 推進計画における
				多様な主体			効果的な推進		
				家庭	学校等	地域	食育の関心	新たな日常	
山城南農業改良普及センター									
	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）	25	A		○	○	○		
山城北保健所									
	健康づくりイベント等における食育啓発活動	25	A	○		○		1	
	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	26	A	○		○		1	
山城南保健所									
	働き盛り世代の生活習慣病予防をねらいとした啓発	26	A	○		○		1	
	家庭における食育推進をねらいとした啓発	26	A	○		○		1	
南丹地域									
振興局農林商工部地域づくり振興課									
	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	27	A			○			
南丹農業改良普及センター									
	地元小学校の児童を対象とした食育活動	27	A		○			3	
南丹保健所									
	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催	27	A	○	○	○			
	京都丹波地域配食サービスリストの周知	28	A	○		○			
	大学食堂や社員食堂を通じた健康づくりに関する情報発信	28	A	○	○	○			
中丹地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	食育月間の取組	28	A				○		
	中丹茶の魅力発信	29	A		○	○	○		
中丹東農業改良普及センター									
	農作業体験の推進（中学校・小豆）	29	A		○		○		
中丹西農業改良普及センター									
	学校等における体験型食育授業開催に向けた支援	30	A		○			3	
中丹東保健所									
	きょうと健康長寿推進中丹東地域府民会議の開催	30	A			○			
中丹西保健所									
	きょうと健康長寿推進府民会議	31	A		○	○			
	家庭における食育推進を目指した啓発	31	A	○		○			
	社員食堂を通じた健康づくりの取組	32	B			○			
丹後地域									
振興局農林商工部農商工連携・推進課									
	丹後地域の食の魅力発信	32	A			○	○		
丹後農業改良普及センター									
	小学校の食育活動に対する支援	32	B		○				

担 当 または 窓 口	取 組 事 項 名	ペ ー ジ	評 価 (※)	推進計画における施策との対応					推 進 計 画 に お け る 目 標 と の 対 応
				多様な主体			効果的な推進		
				家 庭	学 校 等	地 域	食 育 の 関 心	新 た な 日 常	
	丹後保健所								
	食育月間の取組	33	A				○		
	イベント等における健康づくり啓発活動	33	A	○		○	○		
	丹後食育フォーラムの開催	34	A	○	○		○		
	社員食堂を通じた健康づくりの取組	34	A	○		○			
	教育委員会								
	保健体育課、学校教育課、高校教育課								
	学校教育活動全体を通じた食育の推進	34	A		○				
	調理体験等の充実	35	A		○				
	学校給食を活用した食育の推進	35	A		○				
	保健体育課、学校教育課、社会教育課								
	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進	35	A	○					2
	保健体育課								
	地場産物を取り入れた学校給食の促進	36	A		○				4
	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成	36	A		○				3
	教職員研修の充実	36	A		○				
	教職員人事課								
	採用選考試験等の実施	37	A		○				
件 数	71			26	29	39	31	8	

3 個別の取組（令和7年度）

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (総会、情報交換会等の開催、食育支援活動の登録)				
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク^(※)において、府内で食育に取り組む様々な関係者が集い、それぞれの特性を生かしながら、協働し、府民運動として食育を推進します。きょうと食育ネットワーク団体やきょうとの食育サポート企業の食育支援活動など食育の情報をホームページ等で情報提供します。</p> <p>(※)保健衛生関係、農林水産関係、教育関係、大学関係、商工関係、消費者関係、NPO等、報道関係、行政関係の計87団体が加入</p> <p>目標：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回</p>				
取組の実績	<p>令和3年4月から開始した「第4次京都府食育推進計画」を踏まえ、きょうと食育ネットワーク参画団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」などの食育活動を行うこととし、府内食育関係者が食育に関する情報交換を行い、更なる連携を図る機会とするため、情報交換会をオンラインで開催しました。</p> <p>実績：通常総会の開催 1回、情報交換会の開催 1回、幹事会の開催 1回</p> <p>○情報交換会 日 時：令和7年7月9日（水）オンライン開催 内 容：(1) 京都府からのお知らせ 「京都府の食に関する取組について」 (2) きょうと食育ネットワーク参画団体における食育活動について ア 「京都府漁協の食育の取組について」 京都府漁業協同組合組織部指導課 イ 「オンライン食育企画 親子でチャレンジ いわしくッキングの取組について」 京都府生活協同組合連合会 事務局 (3) 意見交換 参加者：61名（食育ネットワーク会員、きょうとの食育サポート企業、きょうと食いく先生、学校、関係団体、行政等食育関係者）</p>				
評価	A				

担当または窓口 農政課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうと食育強化月間の啓発)				
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進します。</p>				
取組の実績	<p>参画団体等が共通認識のもと、食育の取組を積極的に行う期間として、「きょうと食育強化月間（11月）」を設定し、統一テーマ「朝ごはんを食べよう！」を推進しました。京都府食の安全・食育情報 Facebook、Xによる情報発信、府庁ロビー展示を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>京都府食の安全・食育情報Facebook・X</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>京都府庁ロビー展示</p> </div> </div>				
評価	A				

施策	家庭、食育の関心、 新たな日常	目標	1
----	--------------------	----	---






取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (動画を活用した子育て世代向け食育啓発)		
取組の内容	<p>府民の間で広く食育への関心を高め、家庭で食育を実践するきっかけとするため、仕事や家事に忙しい「若い世代」や「子育て世代」を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる「レシピ動画」を制作し、レシピ動画の出演者を交えた「食育トークショー」を開催します。</p> <p>目標：動画の制作 2編、トークショーの開催 1回</p>		
取組の実績	<p>府民の間で広く食育への関心を高め、京都の食文化を家庭で楽しく継承する契機とするため、食育の啓発が届きにくかった「若い世代」及び「子育て世代」を主な対象として、生産者の声とともに、京野菜の「九条ねぎ」と「万願寺とうがらし」を使った簡単で美味しいレシピを紹介する動画を制作し、SNS等を活用して広く発信しました。</p> <p>また、京都の食材や食文化を取り入れた家庭での食育について提案するトークショー「“できる”から始まる楽しい食育トークショー」を開催しました。</p> <p>出演：奥蘭 壽子 氏（家庭料理研究家）※レシピ考案 石崎 信也 氏（農業者〔京都市〕／きょうと食いく先生） 吉本 優子 氏（京都府立大学農学食科学部栄養科学科 准教授）</p> <p>実績：○動画の制作 2編 奥蘭 壽子さん考案の「京野菜を使った簡単で美味しいレシピ」を紹介 ①豚肉と九条ねぎの甘辛煮 ②万願寺とうがらしと油揚げのおかか醤油炒め 視聴回数：7,373回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>○食育トークショーの開催 開催日時：令和7年8月2日（土）13時30分～15時 参加者：215人（会場＋オンライン） アーカイブ視聴回数810回</p>  <p>発信：京都府食の安全・食育情報SNS、京都府広報課SNS、京都府広報監まゆまるSNS 関係団体SNS</p>		
評価	A		

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	10
----	-----------------------	----	----




取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (ICTを活用した食育宣言の募集を通じた食育啓発)		
取組の内容	<p>望ましい食生活の実践に向けて、府民自らが具体的な取組目標を宣言し、取組結果を共有するもので、きょうと食育ネットワークの連携・協力のもと、SNS等を効果的に活用することで、より高い波及効果によって、幅広い府民の自発的な取組を促進します。</p> <p>目標：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 累計10,000人</p>		
取組の実績	<p>「第9回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール」やイベント等において、府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。</p> <p>コンクールでは、個人では小学生～大学生、一般の方、グループではこども園、中学校、高校、地域の団体など、全体で329件・508人から幅広い応募がありました。また、農林水産フェスティバル2025ではコンクールの特別賞投票を行い、コンクールと連動して府民自らの食育宣言を収集しました。その他、食に関するイベントと連動して参加者アンケート方式で、府民自らの食育活動の宣言を収集しました。</p> <p>○第9回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクール：508人 概要：府民等から、「自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言）」と「その目標達成に向けた実践活動」を募集し、応募作品の中から事務局及び選考意見聴取会で入賞作品を決定し、表彰する。 募集内容：①自分自身の食に関する目標（食のみらい宣言） ②目標達成に向けた実践活動についてのコメント ③活動の様子が分かる写真等 応募方法：Instagramでの応募、Eメールまたは郵送での応募 募集期間：令和7年6月2日～11月4日 応募総数：329点（メール・郵送326点、Instagram3点） 入賞：20点（最優秀賞1点、優秀賞5点、特別賞3点、佳作11点） 協賛の「きょうとの食育」サポート企業から副賞を授与</p> <p>○参加者アンケート：4,951人</p> <p>実績：ICTを活用して食育宣言を行う府民の数 のべ18,439人 （令和7年度実績 5,459人＋令和6年度までの実績 12,980人）</p>		
評価	A		



施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発)		
取組の内容	府内における食育活動を推進するために、きょうと食育ネットワーク団体や、市町村、府、学校など公的機関、地域の活動グループ等が行う食育活動を積極的に支援・協力する企業を『「きょうとの食育」サポート企業』として登録し、ホームページ等で情報提供を行います。 また、きょうとの食育サポート企業と連携して、食育啓発を行います。		
取組の実績	<p><朝食摂取促進の取組> 日時：令和7年4月1日(火)～14日(月) 内容：・ファミリーマート(府内約230店舗)店内に設置されたデジタルサイネージ「FamilyMartVision」で啓発動画を放映 ・ファミリーマート(府内約330店舗)店内に啓発ポスター及びPOPを掲出 連携：大塚製薬(株)、ファミリーマート、京都府</p>  <p><「近畿の旬の野菜をおいしく食べようレシピブック」の作成、イベント開催> 日時：令和7年6月24日(火) 場所：イオンモール北大路店イベントスペース1階センタープラザ東側 内容：・野菜350g当てクイズ ・近畿の旬の野菜をおいしく食べようレシピブックの配布 (近畿の旬の野菜を使用し、野菜がたくさん摂取できる主菜メニューなど7品のレシピ、京都府からのお知らせ等を掲載) ・京都府・京都市作成の野菜啓発等食育動画の放映、レシピカードの配布 など ・シールアンケートの実施 連携：味の素(株)大阪支社、(株)光洋、京都市、京都府</p>     <p style="text-align: center;">レシピブック</p> <p style="text-align: center;">イベントの様子</p>		
評価	A		

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (食育事例集の作成、啓発)		
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体等の食育情報等を収集し、ホームページ、FacebookやXで情報発信します。		
取組の実績	<p>きょうと食育ネットワーク団体、市町村・京都府関係部局等から食育情報を収集し、京都府食の安全・食育情報Facebook、Xで紹介しました。</p>   		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	きょうと食育ネットワーク連携による取組 (朝食摂取、主食・主菜・副菜のそろった食事の啓発)		
取組の内容	きょうと食育ネットワーク団体が相互に連携し、「朝食摂取」や「主食・主菜・副菜のそろった食事」の取組を実施します。		
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や家事に忙しい「若い世代」や「子育て世代」を主な対象として、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案となる動画を制作するとともに、トークショーのライブ配信やSNS等による拡散を実施しました。(再掲) ・大塚製薬(株)及びファミリーマートと連携し、ファミリーマート各店舗において、デジタルサイネージ「FamilyMartVision」での啓発動画の放映ならびに店内への啓発ポスター及びPOPの掲出を通じて、朝食摂取の啓発を実施しました。(再掲) ・味の素(株)、京都市等と連携し、野菜を使った手軽に作れるメニューを掲載した野菜摂取量向上の啓発レシピブックを作成・配付し、イオンモール北大路店で啓発イベントを開催しました。(再掲) ・ICTを活用して府民に食に関する目標を宣言していただき、自発的な食育活動への取組を促進しました。(再掲) 		
評価	A		

担当または窓口 農政課

施策	学校等、地域	目標	3
----	--------	----	---

取組事項名	きょうと食いく先生等派遣事業 (派遣、養成講座の実施と認定、交流会の開催)		
取組の内容	<p>学校等において、食の大切さや食を支える農林水産物の重要性を学ぶ機会を増やし、農林水産物の生産や調理・加工等の食農体験指導を行う人材を育成するため、きょうと食いく先生養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。</p> <p>また、きょうと食いく先生を、保育所、学校、地域等に派遣し、体験を通じた「命」と「食」の大切さを学ぶ食育活動を支援するとともに、学校における食育の活発化・充実化を図るため、学校関係者やきょうと食育先生がその取組を共有するとともに専門家がその効果についてアドバイスを行う交流会を開催します。</p> <p>目標：養成講座の開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 554授業 京都府食育推進交流会の開催 1回</p>		
取組の実績	<p>きょうと食いく先生を新たに16名認定し、学校等における体験型食育の一層の充実を図ることを目的として、「きょうと食いく先生」認定希望者、既存の食いく先生、学校関係者等を対象に養成講座を開催しました。</p> <p>また、学校担当者ときょうと食いく先生等が交流する「京都府食育推進交流会」を開催し、体験型食育の意義や、教科等と関連付けたきょうと食いく先生の取組について理解を深める機会となりました。</p> <p>なお、今年度は農作業体験を取り入れた授業が大幅に増加し、令和7年度においても目標としていた授業数を達成しました。実施授業数は過去最高となる596授業となり、体験型食育の取組が広がりました。</p> <p>実績：養成講座の開催 1回(オンライン会場及び現地5会場) きょうと食いく先生の授業数 596授業 京都府食育推進交流会の開催 1回</p>		
評価	A		

担当または窓口 農政課

		施策	学校等	目標
取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施			
取組の内容	子どもを対象とした調理実習を推進するため、子ども用の調理器具の貸出事業を実施し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。 目標：10回			
取組の実績	保育所等で実施する調理実習の機会に子ども用調理器具の貸出を実施しましたが、実施回数は目標に達しませんでした。 実績：3回			
評価	B			

担当または窓口 農政課

		施策	地域	目標	5
取組事項名	市町村食育推進計画作成の手引きを活用した支援				
取組の内容	市町村食育推進計画の作成を通して、様々な食育の取組が連動し、地域の特性を生かした効果的な食育が推進されるよう支援を行います。 目標：市町村等食育担当者会議の開催 1回				
取組の実績	市町村における食育推進計画の策定及び食育活動の推進に向けて、与謝野町食育推進計画策定にかかるオンラインミーティングに参画し個別に支援しました。また、令和7年度は、京都府食育推進計画の次期計画の策定年度であったため、計画策定に係る検討状況について、市町村食育関係者へ情報提供しました。 実績 ・与謝野町食育推進計画策定ミーティングへの参加 ・京都府食育推進計画の策定に係る検討状況について、市町村食育担当者等へ情報提供				
評価	B				

担当または窓口 農政課

		施策	地域、食育の関心、 新たな日常	目標	1
取組事項名	大学等と連携した、きょうと食の安心・安全ヤングサポーターの養成、食育体験講座の開催				
取組の内容	将来を担う若者が食に触れ、親しむ機会を増やし、食の安全及び食文化、食を大切にする意識の向上を更に高めるため、大学生等を対象に、食の安心・安全や食育等に関する知識や府が実施する事業等に関する研修会等を開催し、食に関して高い意識を持つ大学生等を養成します。 また、大学生等が京都府の農業や食文化、食育等に対する理解醸成を図ること等を目的に、食育体験講座を開催します。 学生等が動画などの啓発媒体の作成・周知に携わるなど、食の重要性を学ぶ者自らが、周囲を巻き込みながら情報発信を行います。 目標：養成数 236名、食育体験講座の開催 1回				
取組の実績	第4次京都府食育推進計画の「若い世代の食への関心の向上」「ICTを効果的に活用した食育の取組」の一環として、大学生に、農業者や食品加工業者であるきょうと食いく先生の取材の機会を提供することで、学生等が、京都府の農林水産物が消費者に届くまでの生産・加工過程や思いを理解するとともに、その内容を同世代に伝える啓発資材の作成を通じて、食への意識向上を図ることを目的とした研修会を開催しました。 実績 養成数 350名、食育体験講座の開催 1回				
評価	A				


担当または窓口 農政課

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
----	-----------------------	----	---

取組事項名	京都府食の府民大学の講義の充実
取組の内容	府民の食に関する学習環境の充実を図るため、忙しい方でも、時間や場所にとらわれずに学べるツールとして、「京都府食の府民大学」サイトの動画公開を充実させ、食に関する知識や技術を習得する機会を提供します。 (京都府食の府民大学：https://www.pref.kyoto.jp/fumindaigaku/index.html) 目標：総動画再生数 9万回（年間再生数1万回）
取組の実績	6講座を新規作成し、「京都府食の府民大学」のHPに公開しました。 実績：総動画再生数 10.4万回 新規講座 6本 食育レシピ動画2本、食育トークショー1本、リスクコミュニケーションショート動画1本 京都府食の府民大学ショート動画1本、京都府食の安心・安全行動計画ショート動画1本
評価	A

担当または窓口 農政課

施策	家庭、学校等、地域、食育の関心、新たな日常	目標	9
----	-----------------------	----	---

取組事項名	京都府食の安全・食育情報SNSを活用した情報発信
取組の内容	京都府食の安全・食育情報Facebook、X等で、食育の事例紹介や、食のまめ知識、食の安全・食育に関するイベント等、食に関する情報を定期的に発信します。 目標：SNS等を活用した情報発信数 150回
取組の実績	SNS（京都府食の安全・食育情報Facebook、X）を活用して定期的に情報発信し、広く府民等に食に関する取組情報等の提供を行いました。 実績：276回 
評価	A

担当または窓口 農村振興課

施策	地域	目標	
----	----	----	--

取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催
取組の内容	次世代を担う子ども達が地域内外の人達と一緒に、農業・農村の役割・歴史・文化や里山・水田が育む豊かな生態系等について体験を通じて学習し、ふるさとの農山村に誇りと愛着を高める取組を実施します。 目標：農業・農村体験イベント 10地区
取組の実績	ふるさと保全活動等を府内13地区で実施しました。棚田模型を活用し、田んぼが有する多面的機能について学習するとともに、それらを支える農業用施設等（井堰、ため池等）を幅広く学び、地域の農業・農産物について深く考える機会となりました。 実績：農業・農村体験イベント 13地区
評価	A

担当または窓口 農村振興課		施策	学校等	目標
取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動			
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保安全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標：参加学校数 2校</p>			
取組の実績	<p>令和7年度は教育実践パートナーシップ活動（※）等を府内1校で取組を実施しました。「農業」をキーワードに、地域の方とともに水利施設等の農業用施設の学習や農業土木の仕事に関連する現場や技術等の見学を実施し、学生の知識を深めることができました。</p> <p>（※）教育実践パートナーシップ活動：水路や農道などの農業用施設の保全活動や地域特産品の試作などを通じて、学校（高校・大学）と農村地域との連携を高める取組</p> <p>実績：参加学校数 1校</p>			
評価	B			

担当または窓口 経営支援・担い手育成課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	農業体験活動等の推進			
取組の内容	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園や果樹園において、若いファミリー層など幅広い年齢層を対象に野菜や果樹（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫体験など、食育推進に繋がる活動を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ収穫体験（しいたけオーナー）（30人） ・タマネギ収穫体験（250人） ・万願寺とうがらし、こどもピーマン収穫体験（300人） ・ブルーベリー収穫体験（600人） ・サツマイモ収穫体験（550人） ・ミカン収穫体験（350人） <p>目標：2,080人</p>			
取組の実績	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（万願寺とうがらし、ブルーベリー等）の収穫体験を行い、「農業体験」活動を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ収穫体験 実施日：5月16日～6月8日 参加者：123人 ・万願寺トウガラシ等収穫体験 実施日：7月9日～10月13日 参加者：417人 ・ブルーベリー収穫体験 実施日：7月25日～9月6日 参加者：521人 ・サツマイモ収穫体験 実施日：10月15日～11月8日 参加者：334人 ・ミカン収穫体験 実施日：11月7日～11月15日 参加者：312人 ・シイタケ収穫体験（シイタケオーナーによる収穫） 春・秋 延べ約30人 <p>実績：1,737人 ※参加者数は、1グループ3名で算定（ブルーベリー、シイタケ以外）</p>			
評価	B			



担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標	7
取組事項名	京の食文化の語り部による講演会の開催				
取組の内容	京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京の食文化や府内産農林水産物・加工品をテーマにした講演会を開催します。				
取組の実績	<p>●京の食文化ミュージアム・あじわい館において、京の食文化の語り部による講演会を全3回開催しました。</p> <p><開催実績></p> <p>1回目：題名：夏の京野菜を知って味わおう！市場見学と調理実習付き講演会 日時：令和7年7月11日（金）9：15～11：30 講師：蒲田 季和（京の食文化の語り部）、松本 雄治（京の食文化の語り部） 参加者実績：32名</p> <p>2回目：題名：京都丹後の日本酒の魅力を発信～試飲付き講演会 日時：令和7年10月5日（日）14:30～16:00 講師：川添 智未（京の食文化の語り部） 参加者実績：32名</p> <p>3回目：題名：漁師さんから学ぶ！京の海の幸親子向け料理教室 日時：令和8年1月24日（土）10:30～13:30 講師：民野 摂子（京の食文化の語り部）、菱田 誠（京都府漁業士会会長） 参加者実績：30名</p> <p>●京の食文化ミュージアム・あじわい館YouTubeチャンネルにおいて、京の食文化の語り部が京都の食文化やあじわい館の展示を紹介する動画を公開しています。</p> <p>現在の動画公開本数：10本</p>				
評価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	家庭、食育の関心	目標	9
取組事項名	cookpad京都府公式キッチンにおける情報発信				
取組の内容	cookpad京都府公式キッチンにおいて旬の京都府産農林水産物の情報発信、レシピ紹介を実施します。				
取組の実績	<p>cookpad京都府公式キッチンにおいて、京都府産農林水産物を使用したレシピの紹介を実施しました。</p> <p>年間掲載数：60件</p>				
評価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標	
取組事項名	「旬の京野菜提供店」の認定				
取組の内容	いつでも、おいしい京野菜が食べられる飲食店「旬の京野菜提供店」を認定し、京野菜及び京都府産農林水産物の普及に取り組みます。				
取組の実績	<p>全認定店：170店舗（京都府内）、60店舗（首都圏）</p> <p>令和7年度は、新規認定店舗はありませんでした。</p>				
評価	A				

担当または窓口 流通・ブランド戦略課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	京都府農林水産フェスティバルの開催			
取組の内容	農山漁村と都市との交流機会として、京都府農林水産フェスティバルを開催し、京都府産農林水産物及び農林水産業への理解を深めます。			
取組の実績	京都府農林水産フェスティバル2025を開催しました。 開催日：令和7年11月29日（土）、11月30日（日） 場 所：京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ） 来場者：49,000人（2日間合計）			
評 価	A			

担当または窓口 農産課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動を通じた食育活動			
取組の内容	農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を通じて、郷土料理や農業体験などの食育活動を支援します。			
取組の実績	各地域に保持されている技能の登録や、農山漁村伝承優秀技能認定者の講師活動・伝承活動の場づくりを積極的に行うとともに、啓発・PRにも努めました。			
評 価	A			

担当または窓口 農産課		施策	学校等、食育の関心	目標
取組事項名	茶育の推進			
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催（山城広域振興局）や、小学校等での「宇治茶ふれあい教室」（茶協同組合）、「やましろのたから授業」（宇治茶世界遺産登録推進プラットフォーム）による茶育を行います。			
取組の実績	○「キッズ茶ムリエ」は、対面形式で2回開催し、おいしいお茶の淹れ方教室を行いました。 （参加人数：小学生61人） ○「宇治茶ふれあい教室」は、学校単位で7回開催し、お茶の入れ方やお茶の種類・効能についての講義などを通じた茶育を行いました。 （開催回数：小学校2回、中学校2回、高校3回） （参加人数：小学生129人、中学生261人、高校生104人） ○「やましろのたから授業」は、小学校単位で15回開催し、宇治茶を淹れながら、宇治茶の価値や地区のたからについて授業を行いました。 （参加人数：小学生704人）			
評 価	A			

担当または窓口 畜産課

施策	食育の関心、新たな日常	目標	9
----	-------------	----	---

取組事項名	京のこだわり畜産物生産農場フェイスブック等畜産課所管SNSによる食育啓発		
取組の内容	<p>畜産課が所管する京のこだわり畜産物生産農場フェイスブックやXをはじめとしたインターネットを通じた情報発信ツールを活用し、京都産畜産物の歴史や府内畜産農場に関する情報を発信することで、京都の食材や食文化への理解を深め、地産地消を推進します。</p> <p>目標：ICTを活用した畜産物等に関する情報の発信 年25回（R6:30回、R5:54回、R4:15回、R3:10回）</p>		
取組の実績	<p>畜産課が管理するフェイスブックとXのアカウントから京都府の畜産物に関する情報発信を行いました。</p> <p>発信回数：24回 フェイスブック：12回 X：12回</p>		
評価	B		

担当または窓口 水産課

施策	学校等、食育の関心	目標	
----	-----------	----	--

取組事項名	水産教室の開催		
取組の内容	<p>子どもたち（主に、府内の小中学生）を対象に、水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、府職員が京都の海や魚、漁業などに関する講義を行います。</p>		
取組の実績	<p>小学生を対象に京都の京都の海や魚、漁業などに関する講義を行いました。</p> <p>①「海と日本海プロジェクト」で京都市内の小学生約40名に京都の水産物の講義を実施</p> <p>②小学生向け漁業体験を3回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月24日、7月27日、7月31日に行い、24人が参加しました。 <p>③寿司にぎり体験を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月27日に行い、34人が参加しました。 		
評価	A		

担当または窓口 水産課

施策	地域、食育の関心	目標	
----	----------	----	--

取組事項名	都市漁村交流の推進		
取組の内容	<p>京都府産の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、京都産水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流活動に取り組む団体等を支援します。</p>		
取組の実績	<p>「京都の海活性化委員会」による丹後の水産物のPRを行うため、京都市内で行われた「きょうといきものフェス2025」（令和7年9月27、28日）、京都府農林水産フェスティバル2025」（令和7年11月29日、30日）、「京都府環境フェスティバル2025」（令和8年2月11日）に出展を行いました。ブース来場者数は延べ800人でした。</p>		
評価	A		

担当または窓口 大学政策課

		施策	食育の関心	目標	8
取組事項名	和食文化人材の育成				
取組の内容	<p>和食文化を、歴史学・文学・人類学・経営学・食品科学などの専門的な視点から教育・研究する中で、座学を中心とした学びとともに、京都の地の利を活かし、食に関わる料理人や生産者、消費者が、何を見、何を感じているかを、フィールドワーク・演習・実習で学び、和食文化の学識の上に、真の教養人として、現代人の知的関心に応え、世界に日本文化を発信する人材を育成します。</p> <p>目標：和食文化人材の育成人数（京都府立大学農学食科学部和食文化科学科及び文学部和食文化科学科在籍者数） 120人/年</p>				
取組の実績	<p>和食文化を文系から理系にわたり横断的に習得できるカリキュラムを提供し、次代の和食文化を担う人材育成に貢献しました。</p> <p>実績：和食文化人材の育成人数（京都府立大学農学食科学部和食文化科学科及び文学部和食文化科学科在籍者数）：139人/年</p>				
評価	A				

担当または窓口 循環型社会推進課

		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食品ロス削減のための啓発事業の実施			
取組の内容	<p>府民一人ひとりが食品ロスの問題について考え、削減のための主体的な行動につなげることを目的に、10月の食品ロス削減月間を中心に、民間事業者等と連携した啓発を実施します。</p> <p>また、京都府食べ残しゼロ推進店舗について、研修会での啓発や業界団体等と連携して周知を行います。</p>			
取組の実績	<p>10月の食品ロス削減月間を中心に、企業と連携し、食品小売店等でポスター及びてまえどりPOPを掲示し、府民に向けて一斉に啓発を行いました（てまえどり＝すぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品を積極的に選ぶ行動）。また、企業に対してフードドライブの実施を呼び掛け、府民のご家庭にある未利用食品の有効利用を促しました。</p> <p>本府から府民に対しては、デジタルサイネージをはじめ、府のYouTube、X等のSNSを通じた啓発を行い、食品ロス削減に向けた取組の実践を広く呼びかけました。</p> <p>また、京都府食べ残しゼロ推進店舗について、業界団体や食品ロス削減推進サポーターと連携して飲食店等への制度周知を行ったほか、京都府広報番組「あったか京都」においても周知を行いました。</p>			
評価	A			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）

		施策	家庭、学校等、地域、食育の関心	目標
取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり			
取組の内容	<p>学校単位や親子を対象に、公園内でとれた木を燃料にして「おくどさん」で炊事するおくどさん体験や、夕食づくりを実施します。</p> <p>目標：年300名</p>			
取組の実績	<p>自分達で公園内の落ち葉や小枝を集めてもらい、マッチを使った火おこしを行いました。火おこしの際は、薪の種類や火の燃え方について伝えました。</p> <p>かまどや飯盒で行う炊飯体験では、洗米や水量調整、炊きあがりの確認方法について伝えました。</p> <p>参加者：272名/年（団体行事、自主イベント中心）</p>			
評価	B			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	学校等、地域、食育の関心	目標
取組事項名	石窯パン・ピザ作り			
取組の内容	<p>自分の手で作る楽しさを知るきっかけづくりとして、親子や団体を対象に、石窯によるパン・ピザ焼き体験を行います。また、国産小麦を使用し、フードマイレージの話なども行います。</p> <p>目標：年200名以上</p>			
取組の実績	<p>生地の触り心地や香りの変化を楽しんでもらえるような声掛けを行いました。また、生地がシンプルで手軽に入手できるものであるため、家庭でも楽しめることを伝え、作ることの身近さを感じてもらえるよう意識しました。</p> <p>参加者：135名/年（幼稚園、団体グループ、親子行事等）</p>			
評価	B			

担当または窓口 丹後海と星の見える丘公園（自然環境保全課）		施策	家庭、地域、食育の推進	目標
取組事項名	アースデイ丹後			
取組の内容	アースデイ丹後では、地元食材である魚介類や米などを使ったフードの出店を推奨し、来場者に提供を行います。原則、電気を使用せずに公園内でとれた薪や地元産の炭を使って調理を行います。			
取組の実績	<p>丹後地域の自然環境から生まれる食材を大切に思う方々に出店の声掛けを行い、イベント当日は12店舗にフードの出店をしていただきました。</p> <p>開催日：令和7年6月22日（日） 来場者数：800名</p>			
評価	A			

担当または窓口 文教課		施策	学校等	目標
取組事項名	私立幼稚園・学校等への食育推進事業			
取組の内容	園児・生徒の健康な心身の形成及び安心な生活基盤の育成を図るため、食育に関する学習等に取り組む私立幼稚園・学校等を支援します。			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度は、食育に関する教育活動を実施した私立幼稚園・小学校の取組（84件）に対し、支援を行いました。 私立学校（園）に対し、食育関連事業である「地産地消コーディネーター派遣事業」「食育トークショーの開催」「食品ロス削減推進表彰」等についての周知を行いました。 			
評価	A			

担当または窓口 こども・子育て総合支援室		施策	学校等	目標
取組事項名	食育に関する事業案内等の周知			
取組の内容	農政課からの食育に関する事業案内等について、府内の保育所や認定こども園に周知を行います。			
取組の実績	農政課からの食育に関する事業案内等について、市町村を通じて府内の保育所や認定こども園に広く周知を行いました。			
評価	A			

担当または窓口 家庭・青少年支援課		施策	地域	目標
取組事項名	「きょうとこどもの城」等と連携した地域で行う食育の推進			
取組の内容	すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、子どもたちが安心して過ごせ、育ちや学びを総合的にサポートする「きょうとこどもの城」において、生活習慣の確立に向けた取組の一環として、食育の観点に配慮しながら、調理実習等を含めた食事の提供を行います。			
取組の実績	ひとり親家庭のこどもの居場所において、食育の観点に配慮しながら、生活習慣の確立に向けた支援を実施しました。 実施場所 40箇所			
評価	A			

担当または窓口 高齢者支援課		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	高齢者のフレイル予防の指導を行う管理栄養士等の養成				
取組の内容	高齢者の介護予防に資する通いの場において、フレイル・低栄養予防の指導を行う管理栄養士・栄養士を養成します。 ・通いの場など介護予防事業に従事する管理栄養士等への研修を実施 ・年1回、対面又は動画配信により開催				
取組の実績	令和7年度 介護予防従事者スキルアップ研修を開催しました。 ・開催：令和8年3月19日～3月31日 なお、上記以外の期間でも動画視聴できるよう、京都地域包括ケア推進機構ホームページに動画を掲載しました。（令和8年3月） ・参加者：42名（管理栄養士等の職以外の者も含む） ・内容：人生100年 食からのフレイル予防～KEY WORDはつなぐとむすぶ～				
評価	A				

担当または窓口 健康対策課		施策	地域	目標	6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の取組				
取組の内容	①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー、③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。 目標：1000店舗の登録（令和11年度）※きょうと健やか21（第4次）の数値目標と連動				
取組の実績	「エネルギー表示」「野菜たっぷりメニュー」「塩分ひかえめメニュー」「アレルギー表示」に取り組む府内飲食店などを『きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店』として登録し、店舗での表示やホームページにおける周知を行い、府民自らが健康を考えたお店選びに活かすとともに、飲食店の健康意識の向上を図り、健康的で安全な食環境整備をすすめました。 その他、京都市と連携し団体を通じた事業の周知や山城局が「食の健康づくり応援店ガイドブック（乙訓・山城北・山城南エリア）」を作成し飲食店や府民等に周知を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 乙訓保健所

		施策	家庭、食育の関心	目標
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発			
取組の内容	管内市町における健康づくりイベント、また食育推進月間や食生活改善普及運動にあわせて、野菜の摂取やバランスの良い食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供を行い、食育の啓発を行います。			
取組の実績	<p>適塩や野菜摂取（フードモデルの展示）、バランスの良い食べ方等、食育の啓発を下記のとおり行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大山崎町歯のひろば 開催日：令和7年5月31日（土） 場 所：大山崎町保健センター 参加者：59名 ○向日市歯のひろば 開催日：令和7年6月14日（土） 場 所：永守重信市民会館 参加者：62名 ○長岡京市まるごとヘルシーフェスタ 開催日：令和7年9月6日（土） 場 所：長岡京市中央生涯学習センター 参加者：68名 ○保健所ロビーでの啓発 食育推進月間（令和7年6月） 食生活改善普及運動（令和7年9月） 	   		
評 価	A			

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課

		施策	地域、食育の関心	目標
取組事項名	山城マルシェの開催			
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を図るため、農産物や加工食品等を直接消費者に販売する山城マルシェを開催します。			
	目標：7回			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・山城マルシェ in JR宇治駅を7回開催しました。（6/10、7/8、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10の7回開催） （京やましろ産食材提供店、直売所、加工団体等 のべ70店舗出店） 			
評 価	A			

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課

		施策	地域、新たな日常	目標
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大			
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。			
	目標：10店舗			
取組の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6/20～7/18を募集期間として、登録店舗を募集しました。 ・8/5、6名の外部審査員による審査を経て13店舗（飲食店6、小売店9、重複2）を新規登録しました。（R8.3月現在の登録店舗数：167店舗） 			
評 価	A			

担当または窓口 山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	地域、食育の関心、新たな日常	目標
取組事項名	やましろ産食材を使ったメニュー開発と情報発信			
取組の内容	京やましろ産食材提供店において、山城産食材を使用した特別メニューの提供を行うフェアを開催します。 対象：京やましろ産食材提供店 目標：15店舗			
取組の実績	10/14～12/14、「京やましろ産食材提供店」にて、山城地域で生産された旬の農林畜水産物を1品以上使用したメニューを提供する【食の京都やましろ産いちおしメニューフェアポイントラリー】を開催し、府民や観光客の皆様在京やましろ産食材を味わっていただく機会を提供しました。（参加店舗数：47店舗）			
評価	A			

担当または窓口 山城南農業改良普及センター		施策	学校等、地域、食育の関心	目標
取組事項名	学童田植え・稲刈り体験（木津川市）			
取組の内容	木津川市・JA京都やましろ 木津支店が主催し、農業体験を通じて、食や農業の大切さを学ぶため、相楽（さがなか）地域の農家の水田で、小学生（4校、200人程度）に対し、田植え（6月上旬）、稲刈り体験（10月上旬）を行います。 普及センターは運営支援を行います。			
取組の実績	地域の小学生を対象に、田植え・稲刈り体験を実施しました。 開催日：田植え体験 令和8年6月10日（火）、12日（木） 稲刈り体験 令和8年10月6日（月）、9日（木） 場 所：相楽（さがなか）地区のほ場 参加者：207人（小学校4校）			
評価	A			

担当または窓口 山城北保健所		施策	家庭、地域	目標	1
取組事項名	健康づくりイベント等における食育啓発活動				
取組の内容	各種イベント等、さまざまな機会において、望ましい食生活に関する情報提供や体験の機会を設ける等、食育の啓発を行います。 目標：5回				
取組の実績	<p>①『「野菜のまち」から始まる楽しい食育』イベントに出展し、野菜摂取量増加に向けた啓発やリーフレットの配布を行いました。 開催日：令和7年7月19日（土） 場 所：久御山町役場5階 コンベンションホール 参加者：56人</p> <p>②「やましろ福菜市」のブースにて、血管年齢測定やベジチェックを用いた食習慣の振り返りを通じて、正しい食生活や健康づくりについて啓発を行いました。 開催日：（ア）令和7年8月23日（土）（イ）令和7年12月6日（土） 場 所：（ア）アル・プラザ京田辺（イ）イオンモール久御山 参加者：（ア）79人（イ）74人</p> <p>③「うーちゃフェスタ」でのブースにて、血管年齢測定と塩分チェックシートによる自身の食生活の振り返りを通じて、正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和7年12月14日（日） 場 所：宇治市生涯学習センター及び産業会館 参加者：171人</p> <p>④スーパーと連携した適塩及び野菜摂取増加を目的とした啓発イベントを実施し、ベジチェックや塩分チェックシートを用いて、健康や食生活について栄養士からアドバイスを行いました。 開催日：令和8年2月21日（土） 場 所：アル・プラザ京田辺 参加者：93人</p>				
評価	A				



担当または窓口 山城北保健所

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発		
取組の内容	管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発を行います。 目標：3事業所		
取組の実績	<p>①商工会議所が実施する複数の小規模事業所の従業員を対象とした集団健診会場にて、体験（血管年齢測定、スモーカーライザー、歯周病チェック等）や展示等により健康づくりや正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和7年7月10日（木） 場 所：城陽商工会議所 参加者：53名</p> <p>②事業所と連携し、社員食堂での食環境の整備と健康イベントを実施し、正しい食生活への啓発を行いました。 開催日：令和7年7月30日（木） 場 所：星和電機株式会社 参加者：39名</p>		
評価	A		

担当または窓口 山城南保健所

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防をねらいとした啓発		
取組の内容	管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発を行います。		
取組の実績	<p>管内2事業所にて従業員の生活習慣病予防や食生活改善等に向けた啓発を行いました。 開催日：①令和7年5月16日（金）、6月2日（月）、9月29日（月）、30日（火） ②令和7年8月21日（木） 場 所：①京セラ株式会社けいはんなリサーチセンター社員食堂、 ②関西光量子科学研究所 大会議 参加者：①延べ187人 ②46人 内 容：体組成測定や食事カードバイキングなどの体験コーナーや運動、間食に関する展示と展示内容に関するクイズラリー等、体験型の啓発を実施。 また上記イベント前後9月～12月頃にかけて、食堂にて卓上POPの設置による啓発も行いました。 実績：2事業所</p>		
評価	A		

担当または窓口 山城南保健所

施策	家庭、地域	目標	1
----	-------	----	---

取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発		
取組の内容	各種イベント等において、野菜・塩分の適正摂取等、望ましい食生活に関する情報提供の機会を設けるなど、食育の啓発を行います。		
取組の実績	<p>管内の各種イベント等において、生活習慣病予防やロコモ予防等に向けた食生活等の啓発を実施。 開催日：①令和7年10月12日（日） ②11月9日（日） 場 所：①せいかまつり ②木の津まつり 参加者：①89人 ②53人 内 容：体組成測定による体験コーナー、保健指導、アンケート等の実施 塩分を見える化した媒体や啓発パネル等の展示 実績：2回</p>		
評価	A		

担当または窓口 南丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課		施策	地域	目標
取組事項名	おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催			
取組の内容	ボランティアと農家とが一緒になって農作業で汗を流し、おいしい農産物をつくります。農村地域等との交流をとおして、農山村の活性化や地産地消を推進し、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。			
取組の実績	京都丹波の4地区で農作業応援を10回開催し、延べ98人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。 また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。			
評価	A			

担当または窓口 南丹農業改良普及センター		施策	学校等	目標	3
取組事項名	地元小学校の児童を対象とした食育活動				
取組の内容	京丹波町にある瑞穂小学校の児童を対象に田植え体験を行います。 時期：令和7年5月中旬ごろ 対象：京丹波町立瑞穂小学校児童				
取組の実績	京丹波町瑞穂地区で水稻を生産している農業法人の食育活動を支援しました。 開催日：令和7年5月12日（月） 場所：京丹波町水稻栽培ほ場 参加者：小学5年生17人 田植え体験や講義を通して、お米がどのようにできているのかを学ぶことや、地元との交流を目的として食育活動を行いました。				
評価	A				

担当または窓口 南丹保健所		施策	家庭、学校等、地域	目標
取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議食環境部会の開催			
取組の内容	南丹地域の食による健康長寿を目指すことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。また、本部会にて「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを作成し、農産物直売所・一般飲食店、クックパッド京都府公式キッチン、京都府公式YouTube、食環境部会構成団体等を通じて、広く普及し、野菜摂取量向上に向けた取組をより一層進めていきます。 目標：食環境部会の開催 年1回 なんたん・かんたん・やさしい料理 レシピカード配布数：10,000枚			
取組の実績	きょうと健康長寿府民会議 食環境部会について以下のとおり実施しました。 開催日：令和7年6月16日(月) 場 所：南丹保健所 講堂 出席者：構成団体14団体18名 内 容：食生活の課題である「野菜摂取向上」「減塩対策」「高齢者の低栄養対策」に加え、「バランスのよい食事」に向けたアプローチに向けた取組の協議 若い世代(大学生)へのアプローチ方法(食育キャンペーンの内容変更)の検討 共通媒体(なんたん・かんたん・やさしいレシピカード)の検討 各団体の取組の共有や意見交換 等 「なんたん・かんたん・やさしいレシピカード」については、管内の希望された施設(直売所等)へ配布した他、食環境部会構成団体による周知(市広報誌への掲載、公立保育所・こども園の食育だよりへの掲載等)、クックパッド京都府公式キッチンへの掲載、京都府公式YouTubeでのレシピ動画配信にて、広く普及啓発を行いました。 実績：食環境部会の開催：年1回 なんたん・かんたん・やさしい料理 レシピカード年間配布数：計12,099枚			
評価	A			

担当または窓口 南丹保健所		施策	家庭、地域	目標
取組事項名	京都丹波地域配食サービスリストの周知			
取組の内容	<p>南丹地域で食事について課題を持っている住民が、ニーズにあった食サービスが利用できるよう、最新の情報が掲載された配食サービスリストを広く周知します。</p> <p>目標：配食サービスリスト配布施設数：150施設： ホームページの更新 1回</p>			
取組の実績	<p>必要とされる方がよく利用される病院や診療所等へ配布するだけでなく、保健所ホームページ等へ掲載し、広く周知を行いました。</p> <p>実績：＜配布先＞ 232施設 病院・診療所等：72か所 薬局：45か所 地域包括支援センター：14か所 訪問看護事業所：17か所 訪問介護事業所：44か所 居宅介護支援事業所 40施設 行政 等</p> <p>＜ホームページ更新＞ 2回</p>			
評価	A			


担当または窓口 南丹保健所		施策	家庭、学校等、地域	目標
取組事項名	大学食堂や社員食堂を通じた健康づくりに関する情報発信			
取組の内容	<p>若い世代や働き盛り世代の「野菜摂取量の不足」「塩分の過剰摂取」等の食に関する課題解決に向け、食堂を持つ企業・大学へ啓発媒体等を提供し、食堂利用者の意識・知識の向上を図ります。</p> <p>目標：啓発媒体提供施設数：3施設以上</p>			
取組の実績	<p>若い世代や働き盛り世代の食生活の課題解決に向け、保健所等で作成した啓発媒体大学・企業等へ提供し、食堂利用者へ正しい知識の普及に努めました。</p> <p>実績：啓発媒体提供施設数：3施設（大学1箇所、企業2箇所）</p>			
評価	A			

担当または窓口 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食育月間の取組			
取組の内容	<p>食育月間である6月に、振興局庁舎内においてポスター等を掲示し、食育にかかる情報発信を行います。</p>			
取組の実績	<p>食育月間に合わせ、振興局庁舎の玄関ホールおよび職員通用口付近に食育関連ポスターを掲示しました。これにより、来庁者や職員に対し、食育の意義や取組に関する情報発信を行いました。</p>			
評価	A			

担当または窓口 中丹広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課		施策	学校等、地域、食育の関心	目標
取組事項名	中丹茶の魅力発信			
取組の内容	<p>全国茶品評会でも日本一に輝く茶の産地である中丹地域のお茶の魅力発信に取り組みます。また、若い世代の中丹茶への関心を高めるため、学校等において茶業教室を開催します。</p> <p>目標：イベントの開催 5回 学校での授業 延べ20回</p>			
取組の実績	<p>イベントや学校・幼稚園等で、にのくに茶業青年団による茶業授業等を開催しました。</p> <p>【イベントの開催】6回 <ul style="list-style-type: none"> ・新茶まつり（彩菜館綾部店）6月21日、来店者200人 ・クルーズ船乗客へお茶振舞い（舞鶴港）7月27日他3回、各回200人 ・あやべ産業まつり（あやべ日東精工アリーナ）10月5日、来場者2000人 </p> <p>【学校での授業】31回 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府立福知山高等学校：6月23日他1回、延べ374名 ・京都府立福知山高等学校附属中学校：6月25日、180名 ・福知山市立遷喬小学校：6月16日、63名 ・福知山市立豊富小学校：6月18日他3回、延べ152名 ・福知山聖マリア幼稚園：5月16日他22回、延べ1209名 </p>			
評価	A			

担当または窓口 中丹東農業改良普及センター		施策	学校等、食育の関心	目標
取組事項名	農作業体験の推進（中学校・小豆）			
取組の内容	<p>地域において将来農業に従事する人材を育てるとともに、学校教育の中で農業に触れてもらうため、これまで農作業体験を取り入れていない中学校を対象として、農業経営体が地域の特産物である「小豆」の収穫体験を実施し、今後、中学校からの要請に応じて自主的に活動が行えるよう支援します。</p> <p>作 物：小豆 時 期：令和7年11月 対象者：綾部市立東綾中学校の生徒 場 所：綾部市和木町ほか 実施方法：小豆農家の指導により、収穫作業や加工体験（和菓子作り等）を実施</p>			
取組の実績	<p>当初計画になかった黒大豆枝豆（紫ずきん）についても取組み、普及センターが地元生産者とともに2校の中学1年生を対象に体験型食育活動を実施しました。</p> <p>作 物：①小豆 開催日：令和7年12月4日 対象者：綾部市立東綾中学校1年の生徒13名、1学年担任、学年主任 場 所：綾部市立東綾中学校2階調理室（綾部市鷹栖町） 実施方法：小豆の羊羹づくりとお茶の淹れ方を指導 講師3名：橋本登美雄氏（茶・小豆生産者） 四方英幹氏（茶・万とう生産者） 櫻井喜仁氏（茶・万とう生産者）</p> <p>作 物：②黒大豆枝豆（紫ずきん） 開催日：令和7年10月19日 対象者：綾部市立綾部中学校1年の生徒7名、キャリア教育主任 場 所：ベジタブルプレイスほ場（綾部市上八田町） 実施方法：山本哲也氏を講師として、紫ずきんの農作業（枝切バサミを使った収穫、脱英機による英の分離作業、外品の選別作業）体験を支援</p>			
評価	A			

施策	学校等	目標	3
取組事項名	学校等における体験型食育授業開催に向けた支援		
取組の内容	<p>普及センターが、食いく先生等地元農業経営体と地域の学校の関係性を新たに構築し又は既につながった関係性の維持を図りながら、農業や地域の農作物に対する関心を高めてもらう体験型食育授業が円滑に進行されるよう、農業経営体、学校双方を支援します。さらにその効果を高めるため、子供たちが農作業してできた農産物が着実に学校給食の食材として提供されるように、学校給食センターとも日程調整を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 想定される学校と農業経営体：福知山市の三和小学校と中西氏又は北山氏、夜久野学園(小学校又は中学校)と(株)ファームきぬがわ、修斉小学校、惇明小学校と半田営農(株)、共栄高校通信課程と高瀬氏、大江小学校と(農組)鬼の里農園 • 時期：未定(各農業者と学校との日程調整による) • 学校又は農業経営体で、農業経営体が行う目標授業数：5 		
取組の実績	<p>普及センターが食いく先生等地元農業経営体を支援し、幼稚園や小学校等を対象に体験型食育事業を実施しました。</p> <p><えびいも> 開催日：①令和7年5月13日、5月27日、②令和7年5月21日 場 所：①修斉小学校、②福知山幼稚園 参加者：①修斉小学校5年生65名、②福知山幼稚園15名</p> <p><万願寺甘とうがらし> 開催日：①令和7年6月20日、②令和7年9月25日、③令和7年11月6日、11月11日 場 所：①三和町食いく先生ほ場、②三和小学校、③惇明小学校 参加者：①共栄高校通信課程6名、②三和小学校3年生12名、③惇明小学校5年生94名</p> <p><小松菜> 開催日：令和7年11月21日、11月25日 場 所：三和小学校 参加者：三和小学校5年生10名</p> <p>実績：6回</p>		
評 価	A		

施策	地域	目標	
取組事項名	きょうと健康長寿推進中丹東地域府民会議の開催		
取組の内容	府民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援し、地域の特性に応じた生涯にわたる健康づくりを府民運動として、効果的に推進する場として開催します。		
取組の実績	<p>開催日 令和7年11月19日(水) 場 所 中丹東保健所 参加者 32名</p> <ul style="list-style-type: none"> • 睡眠の講演、講師 合同会社「Suiren」 上級睡眠健康指導士 橋 久美 氏 • 報告及び協議 各団体の健康づくりの取組等を確認しました。 		
評 価	A		

担当または窓口 中丹西保健所

		施策	学校等、地域	目標
取組事項名	きょうと健康長寿推進府民会議			
取組の内容	府内で共通して行う健康づくり事業、地域の特性に応じて行う健康づくり事業を進める場として設けることで、推進会議等を活用し、府民が自ら疾病予防や生活習慣の改善に取り組むきっかけづくりとなる健康づくり事業を行います。			
取組の実績	<p>きょうと健康長寿推進府民会議構成団体に対して、福知山市民における野菜摂取量の現状を周知し、また、野菜摂取を推進させるための環境づくりに必要なことについて協議しました。</p> <p>開催日：令和8年2月26日（木） 場 所：京都府中丹西保健所 講堂 参加団体数：15/20 内容①：話題提供「きょうと健康長寿推進府民会議の概要と福知山市の食生活について」 内容②：話題提供「福知山市における野菜摂取量を増やすための取組について」 内容③：講演「がんばらなくていい、野菜の話～いつの間にか野菜が増える、ちょっとした工夫～」 内容④：グループワーク「野菜摂取量を増やすために、各団体どのような取組ができるかについて等」</p>			
評 価	A			

担当または窓口 中丹西保健所

		施策	家庭、地域	目標
取組事項名	家庭における食育推進を目指した啓発			
取組の内容	福知山市の課題である、過度な食塩摂取・野菜摂取不足・朝食欠食の改善を目的に、イベント等で啓発を実施します。			
取組の実績	<p>(1) 食育月間中、適塩および野菜摂取に関するポスター掲示およびリーフレットの配架を実施しました。 開催日：令和7年6月1日～6月30日 場所：①福知山庁舎内府民ホール、②京都北都信用金庫篠尾支店 参加者：①来庁者、②来店者</p> <p>(2) 食生活改善普及月間中、適塩に関するポスター掲示および適塩レシピの配架を実施しました。 開催日：令和7年9月1日～9月12日 場所：福知山庁舎内府民ホール 参加者：来庁者</p> <p>(3) 産業フェア（働き盛り世代を中心とした企業イベント）にて、適塩や野菜摂取に関するポスター掲示、栄養成分表の見方の周知を実施しました。 開催日：令和7年10月18日・19日 場所：三段池公園総合体育館 参加者：イベント参加者</p> <p>(4) 学祭にて、適塩および野菜摂取に関するポスター掲示およびフードモデルの展示を実施しました。 開催日：令和7年11月1日 場所：福知山駅北口公園 参加者：学祭参加者</p>			
評 価	A			

担当または窓口 中丹西保健所

施策	地域	目標
取組事項名 社員食堂を通じた健康づくりの取組		
取組の内容 超高齢社会の担い手である働き盛り世代等、若い世代の疾病予防を食生活から支え、健康増進を図ることを目的に、社員食堂を通して卓上メモやポスター等の媒体を用いた啓発を実施します。		
取組の実績 今年度の報告事例なし ※別事業（食のおもてなし事業）と兼ねての実施予定だったが、当事業が昨年度をもって事業終了となっていたため。		
評価	B	


担当または窓口 丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課

施策	地域、食育の関心	目標
取組事項名 丹後地域の食の魅力発信		
取組の内容 丹後地域の豊かな食材の魅力をより多くの人に知ってもらえるよう、飲食店や食品加工者等と連携したイベントを開催します。 目標：1回		
取組の実績 【高校生向けジビエ料理講習会】 実施日：令和7年7月24日（木） 参加者：7名（高校生5名、教員2名） 内 容：害獣として捕獲されたシカのジビエ利用への理解を深め、地域資源としての価値を見直してもらうため、講義、解体実演、調理実習、実食等を実施しました。 【安全な自家利用のためのシカ解体技術講習会】 実施日：令和7年7月26日（土） 参加者：13名 内 容：丹後地域で多数捕獲されているシカの地域資源としての有効活用を促進するため、安全で美味しくいただくための講義、実演、試食等を実施しました。 【丹後まるごとあじわいマルシェ】 実施日：令和7年10月4日（土）、5日（日） 場 所：道の駅 丹後王国「食のみやこ」 来場者：延べ 約17,000名 内 容：丹後産食材等の魅力をPRするため、地元の直売所や農産物加工事業者等による物販や子どもも楽しめる体験コーナー（魚釣りゲーム）、食育PR動画の上映などのイベントを実施しました。		
評価	A	



担当または窓口 丹後農業改良普及センター

施策	学校等	目標
取組事項名 小学校の食育活動に対する支援		
取組の内容 小学校が「総合的な学習の時間」の中で取り組む、栽培から加工までの一連の食育活動の内、大豆についての学習と栽培を普及センターが支援します。		
取組の実績 新たなほ場が見つからない等、学校側の事情により、今年度の実施は見送りました。		
評価	B	



担当または窓口 丹後保健所

		施策	食育の関心	目標
取組事項名	食育月間の取組			
取組の内容	食育月間である6月に、振興局庁舎内府民ホールにおいて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。			
取組の実績	<p>「適塩」と「脂質の取りすぎに注意」をテーマにリーフレットやフードモデル等を展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について情報発信を行いました。</p> <p>開催期間：令和7年6月2日～6月19日 場所：丹後広域振興局 府民ホール</p>			
評価	A			


担当または窓口 丹後保健所

		施策	家庭、地域、食育への関心	目標
取組事項名	イベント等における健康づくり啓発活動			
取組の内容	イベント等のさまざまな機会において、望ましい食生活に関する情報提供や体験の機会を設ける等、食育の啓発を行います。			
取組の実績	<p>「適塩」と「野菜摂取量向上」をテーマに、正しい食習慣について情報発信を行いました。</p> <p>【丹後農業研究所「施設公開」での健康づくり事業に係る啓発】 開催日時：令和7年8月21日 来場者数：おおよそ50人 内 容：料理カードを利用し、日々の食塩摂取量を知ってもらうとともに、適塩の方法について説明しました。また、野菜に関する知識についてクイズを実施し、野菜摂取量向上のためのポイントを説明しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>適塩啓発</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野菜クイズ</p> </div> </div>			
評価	A			


担当または窓口 丹後保健所


		施策	家庭、学校等、 食育への関心	目標
取組事項名	丹後食育フォーラムの開催			
取組の内容	様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有しネットワークづくりを進めること及び丹後地域の子供たちに望ましい食生活に関する情報を提供することを目的とし講演会等を開催します。			
取組の実績	<p>農商工連携・推進課と共催及びその他食育関連部局からも協力いただき、様々な機関と連携して実施できたため、計画を変更して、食育講演会ではなく食育フォーラムを実施しました。</p> <p>開催日：令和8年2月27日（金） 場 所：峰山地域公民館 大会議室 参加者：40名 内 容：講演「食育と社会のつながり～地産地消から広がる経済・環境への視点～」 講師 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 中村 貴子 氏 グループワーク「各施設（地域）での食育の取り組み事例」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  ←講演の様子  グループワークの様子→ </div>			
評 価	A			


担当または窓口 丹後保健所

		施策	家庭、地域	目標
取組事項名	社員食堂を通じた健康づくりの取組			
取組の内容	管内事業所等と連携し、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等を対象に食生活改善に向けた啓発を行います。			
取組の実績	<p>管内の給食施設の食堂にて健康づくり啓発イベントを実施しました。</p> <p>開催日：令和8年1月28日（水） 場 所：日本冶金工業株式会社大江山製造所 参加者：従業員約50人 内 容：血管年齢測定、高血圧・脂質異常症の啓発</p>			
評 価	A			

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課

		施策	学校等	目標
取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進			
取組の内容	<p>「食に関する指導の全体計画」に基づき、全教職員の共通理解のもと、体系的・継続的に食育の取組を展開し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるよう取り組みます。</p> <p>また、食育に関する教職員の意識の向上を図り、各教科等や特別活動等、あらゆる機会を通じた食に関する指導を充実します。</p>			
取組の実績	<p>小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導の全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと、学校の教育活動全体で取組を進めました。</p> <p>【実践例】 9月1日の「防災の日」に合わせて、災害時を想定した献立（非常食や乾物、缶詰等を活用した献立）を提供しました。 また、災害時の食事や備蓄食について理解を深めるため、動画視聴や掲示物・資料を活用した指導を行いました。 さらに、家庭でも防災意識を高められるよう、おたより等を通じて、啓発を行いました。</p>			
評 価	A			

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課		施策	学校等	目標
取組事項名	調理体験等の充実			
取組の内容	基礎的・基本的な調理の知識と技能を身に付け、日常生活で実践できるようにします。朝食や食事の組み合わせや食文化の継承等について理解を深めるとともに、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わう取組を推進します。			
取組の実績	家庭科、技術・家庭科の授業等において、様々な工夫を凝らしながら、学校や地域の特性を活かした調理実習等の充実を図りました。 【実践例】 和食の日に合わせて、だしを効かせた給食の提供とともに、家庭科の授業で地元の郷土料理の調理を行いました。郷土料理に特有の調理器具を使うことで、児童の興味・関心が高まりました。調理経験不足を解消し、食文化への理解を深めるとともに、将来的に自分で朝食を準備できる力にもつながるよう、今後も実習の機会を積極的に活用していきます。			
評価	A			

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 高校教育課		施策	学校等	目標
取組事項名	学校給食を活用した食育の推進			
取組の内容	将来にわたる健康の保持増進のため、教科等と関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の推進を図ります。			
取組の実績	学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。 【実践例】 毎月1回、全校児童が体を動かして楽しむ日や体育的な行事に合わせて、健康的な生活習慣を身につけることをねらいとした給食を提供しました。運動と食事の関係を実感できるよう、給食の献立と関連つけた指導を行いました。ケガ予防や疲労回復を意識した献立を取り入れ、体づくりの重要性について学びを深めました。			
評価	A			

担当または窓口 保健体育課 学校教育課 社会教育課		施策	家庭	目標
取組事項名	児童生徒の朝食摂取状況の向上に向けた取組の推進			
取組の内容	心身の成長や健康の保持増進の上で食事は規則正しく摂ることが大切であり、特に朝食を摂るなど望ましい食習慣を身につけるよう取組を推進します。			
取組の実績	各学校の授業や掲示物等において、朝食の大切さを学習し、日々の食生活について振り返る機会を設けています。 【実践例】 朝から元気に過ごすため、夏休み前や夏休み明け、運動会前の時期を中心に朝ごはんの大切さについて指導を行っています。朝食のメニューや栄養バランスも重要ですが、まずは朝ごはんを食べる習慣を身につけることを重視しています。一時的な取組ではなく、継続することが大切なため、今後も引き続き指導や呼びかけを実施していきます。			
評価	A			2

担当または窓口 保健体育課		施策	学校等	目標	4
取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進				
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食等を取り入れることにより、食文化や地産地消への理解を深めるよう給食を通じた指導もあわせて実施します。				
取組の実績	<p>「食に関する指導充実事業」や「食育月間」「食育の日」「学校給食週間」などの取組を通じて、地場産物を活用し、地域の特色を生かした学校給食を実施しました。これらの取組内容は、研修会資料や学校ホームページで紹介し、他校や地域、家庭への周知と普及を図りました。</p> <p>【実践例】 和食の良さや旬の食材、地元食材を味わう大切さを伝えることを目的に、毎月19日の食育の日前後に「食育の日献立」を実施しました。一汁二菜の献立や、地場産の野菜や特産品を取り入れた献立を工夫しています。 さらに、地元や近隣地域の農家の方を招き、直接お話を伺うことで、地産地消の良さや自分たちの住む地域の魅力について理解を深めました。</p>				
評価	A				



担当または窓口 保健体育課		施策	学校等	目標	3
取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成				
取組の内容	食の専門家である「きょうと食いく先生」や「食生活改善推進員」等の外部講師による指導、更には地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。				
取組の実績	<p>各学校では、きょうと食いく先生や地域の生産、関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験活動を実施しました。</p> <p>【実施例】 国語科の「すがたをかえる大豆」の学習と関連づけ、地域のきょうと食いく先生（豆腐製造会社）を招いて、豆乳を使った豆腐づくり体験を行いました。大豆から豆乳、豆腐へと変化する様子を自分の目で確認し大豆や大豆製品についての理解を深めることで、国語科とのつながりを実感できる学びとなりました。</p>				
評価	A				



担当または窓口 保健体育課		施策	学校等	目標	
取組事項名	教職員研修の充実				
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、食育推進交流会等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。				
取組の実績	初任者・新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実事業」における京都府食育推進交流会、京都府学校給食衛生管理推進研修会、京都府学校給食研究協議大会等において、教職員の食育に対する意識が向上するよう各種研修会等を開催しました。				
評価	A				

担当または窓口 教職員人事課

	施策	学校等	目標
取組事項名	採用選考試験等の実施		
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。		
取組の実績	今年度、栄養教諭2名を採用し、全体で98人（京都市を除く）の配置数となりました。		
評価	A		